

特区で目指す「創業」の街

昨年5月11日に福岡市が国家戦略特区の1つ、「グローバル創業・雇用創出特区」に指定された。新聞部は国家戦略特区について、福岡市総務企画部の西山健太郎さんと経済観光文化局の池田和浩さんに話を伺った。

国家戦略特区とは

国家戦略特区は安倍政権が打ち出した経済政策「アベノミクス」の第3の矢「民間投資を喚起する成長戦略」の要となる政策である。国内の特定の地域を改革拠点とし、多様な分野で大規模規制改革を行うことで産業の国際競争



東京圏…国際ビジネス、イノベーションの拠点
関西圏…医療等イノベーション拠点、チャレンジ人材交流
新潟市…大規模農業の改革拠点
兵庫県養父市…中山間農業の改革拠点
福岡市…創業のための雇用改革拠点
沖縄県…国際観光拠点

力の強化や国際的な経済活動の拠点の形成を目標としている。この特区には昨年3月全国137つの地域の応募の中から福岡市が選定された。福岡市は以前から独自に創業を支援してきた点が評価され、創業のための雇用改革拠点として「特区」の一つに選ばれた。

強みは「創業者(SMALL)」

グローバル創業・雇用創出特区は、創業の支援と「M-1C」(国際会議・学会・展示会など)を活用したイノベーションの創出を促して、開業率向上や新ビジネス創出を図ることを目的としている。では、なぜ福岡市が特に選ばれたのか。

福岡市の強みは大きく分けて2つある。1つは街がコンパクトで住みやすいことだ。都心に空港や港、池が集中している交通インフラに優れている。その上、自然や食文化にも恵まれているため、英国の情報誌「MONDRIE」が選ぶ「世界で最も住みやすい都市」10位に選ばれている。国内外でもその評価は高い。また、オフィス



規制緩和で開業率増加を

国家戦略特区に指定されて福岡市はどのような取り組みを行っているのだろうか。1つ目は、航空法による高さ制限の緩和だ。福岡市は中心部付近に空港があり、アクセスが良く、民間飛行機の離着陸の影響で建造物の高さ制限が他の地域より厳しい。例えば、天神の明治通り地区は、最盛期も57メートル(地上15階分)までの建物しか建てられなかった。1棟ずつ申請すれば高さ制限を超えた建物ができると、それでは時間がかかってしまう。また、明治通り地区では昭和40年頃に建てられた建物が数多くあり、耐震化やセキヤリタイの強化、100化が進んでいないものが多い。そこで福岡市は地区単位での高さ制限の緩和を提案した。今では高さ76メートル(地上17階分、福岡市役所の建屋と同等の高さ)までビルが建造可能となり、フロアの活用も増えつつある。2つ目は、国家戦略特区占有事業だ。福岡市は全国で初めて道路法の道路占有基準が緩和された。この規制緩和を利用して、国際会議のパーテイなどを開催し、M-1C正議政をさらに促進する狙いがある。国家戦略特区占有事業の第1弾として昨年11月22日、24番(PIKOUA STREET PARKY)が天神のきらめき通りで開催された。イベントでは、通り一帯を歩行者専用道路にし、飲食の提供や音楽や大道芸、DJによるパーティーダンスが披露された。また23日には、福岡国際会議場で開催されていた「第61回日本臨床検査医学学会 折東会田福岡」の懇親会が行われている。

福岡市はこうした規制緩和と独自の施策を組み合わせて、創業の促進と地域の繁栄を促めることをしており、今後の動きが注目される。

カフェで起業

リスタートアップカフェ

スタートアップカフェは、起業スタートアップ(個人)と、起業を応援したい個人などが気軽に集まり交流できる場として、昨年10月1日に5店舗の団体道路沿い249号(TSUTAYA BOOK STORE TENJIN)の地下1階オープンした。カフェは常時コンシェルジュがおり相談に乗ってくれる。また定期的にセミナーや懇談会が行われる。

pink office

カフェでは毎週、起業を目指す人向けにセミナーが開かれる。私生活のあり方に参加した約40人が集まったセミナーは、東京にある11企業役員の高橋悠太さん(28歳)を講師に招いて行われた。飯沼さんによると、検索エンジンの開発に続く今後の普及、そして「シェアリング」の出現と、ネット空間の変化は目まぐるしい。ネット上のサービスで利益を上げるには、ターゲットとなる顧客の性別や年齢層を絞り、その集団がよく利用するサイトに広告を展開すべきだといえ、SNSも活用し、顧客のみならずその友達にも、自社のサービスに「共感」してもらって効果を高めることが、過去のセミナーにも参加



▲参加者の表情は真剣だ

グローバル創業・雇用創出特区としての集中取り組み期間は2年間だ。現在、福岡市は起業家支援の国際化等の規制緩和に取り組みしている段階で、規制の緩和が上昇したわけではない。だが集中取り組み期間後も特区としての取り組みは続く。あなたの将来の選択に「地元での起業」を加えてみるのはどうだろうか。

Written by 河村朋彦、上田早紀、西尾真奈、松原圭亮